

分科会 4

運営委員：平松 靖一郎(豊橋創造大学短期大学部)

【分科会 4 について】

分科会 4 は、事前アンケートで提示した①入学試験、②高校訪問、③オープンキャンパス、④プレゼンテーション、⑤情報分析、⑥高大連携、⑦パンフレットと Web 広報、⑧広報予算と戦略、⑨地域と短期大学という 9 つのテーマの中から、特に③オープンキャンパス、⑦パンフレットと web 広報、②高校訪問、⑨地域と短期大学という 4 つのテーマについて高い関心を示している者が多く集まった分科会でした。従って分科会 4 では、研修会の全体テーマである「みんなで作る元気のもと」ということを考えるに当たり、この 4 つのテーマを中心に意見交換することで、今までの自分に無い視点を持つと同時に、新たな気づきに基づく具体的な自分自身の有り様を見つけていけるよう進めました。また、この分科会 4 では、分科会内の小グループについて、一定時間ごとにローテーションでメンバーの入れ替えを行い、できるだけ多くの参加者との意見交換ができるように配慮しました。自分と同じように課題を抱えながらも頑張っている同志を知ること、そのことを「元気の源」にしてもらえるよう交流を深めました。

【分科会 1 日目】

1. 自己紹介／事前に作成を依頼した自己紹介カードを使用して、自己紹介と研修会参加の目的について発表。発表時間は、一人 3 分。
2. ワークショップの感想と意見交換／自分自身のコミュニケーション力について見つめ直す機会としました。

【分科会 2 日目】

1. 討論／分科会 4 参加者の中で、高い関心を示しているテーマとして多く出されていた 4 つのテーマを中心に、時間を区切って 4 つにわけたグループごとに各大学の事例を紹介してもらい、それに関連する事も含めて参加者相互に質疑応答する形式でグループ討議を進めました。
2. 討論／時間を区切って小グループのメンバー入れ替えを行い、引き続き、4 つのテーマについて質疑応答した。その際、先に聞いた他大学の事例について、自分自身が興味を持った例について語ることで、その事例についてより一層の理解を深めていくよう努めた。



【分科会 3 日目】プレゼン案の作成とプレゼン発表

1. 討論／複数回のグループメンバー入れ替えにより、たくさんの事例を聞いたことで、それぞれが新たに気付いたこと等について意見交換をすることで、今後の業務にどのように活かしていくかの具体的方策について意見交換した。
2. まとめ／具体的方策について意見交換した結果をまとめ、分科会 4 での新たな気付きと今後の具体的方策について発表するための準備を行った。
3. 全体発表／同じような事柄を発表する際にも、発表者の発表の仕方一つで大きく印象が変わり、伝わり方も変わるということを確認できました。



【分科会 4 全体を通して】

今回の分科会 4 の構成員は、比較的入試広報担当歴の浅い方が多く集まっていました。また、年齢的には 20 代から 40 代と、比較的年齢層の近い年代の方が集まっており、和気あいあいとした雰囲気の中、入門的な研修を望んでいる雰囲気を感じる部分もありました。しかしながら、経験年数に関係なく参加者がこれまで経験してきた事の事例や悩みを出し合う中で、同じ短期大学業界で働くものとしての仲間意識が芽生え、自大学での取り組みについて、改めて考え直すきっかけとなったと思います。また、事例の取り上げ方や話し方など、日頃自大学の業務の中では見落としがちな点について、さりげなく気付かされる場面もあり、参加者個々に、自分自身を振り返る機会になりました。



【参加者の声(抜粋)】

- 参加者全員がアットホームな雰囲気で、充実した研修会となりました。
- 多くの短大の方と話ができて、情報交換ができるとてもいい機会だと思います。また、様々な年代の方とお話できていい経験になりました。